

「医療 DX アワード 2025」で「スマート脳ドック」が3部門受賞

株式会社ユカリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三沢 英生）の完全子会社であるスマートスキャン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：古川 淳）は、病院 DX に関する製品・サービスなどを提供する企業を表彰する「病院 DX アワード 2025」（CBnews 主催）において、「課題設定」「現場視点」「医療従事者投票」の3部門にて「ベストファイブ賞」を受賞いたしました。



エントリー記事は[こちら](#)から全文お読みいただけます

今回エントリーした「スマート脳ドック」は、医療機関にて MRI や CT の非稼働時間を活用することで、全国の消費者がリーズナブルかつ短時間で受診可能となるシェアリングエコノミー事業「スマートドック」の主要サービスです。1 回分の受診料は 22,500 円、予約はスマートフォンやパソコンからでき、検査当日は受付から完了まで 30 分。結果は 1 週間以内にマイページで確認できます。

「スマート脳ドック」の導入にあたり医療機関に初期費用やランニングコストは発生せず、導入した医療機関からは「機器の稼働率が上昇した」といったお声を頂戴しています。2024 年 10 月現在で医療機関 234 施設、受診者は累計で約 15 万人、そのうち約 8 割は脳ドックを初めて受診していることから、医療機関への収益向上のみならず、認知拡大・集客（新患獲得）にも貢献している

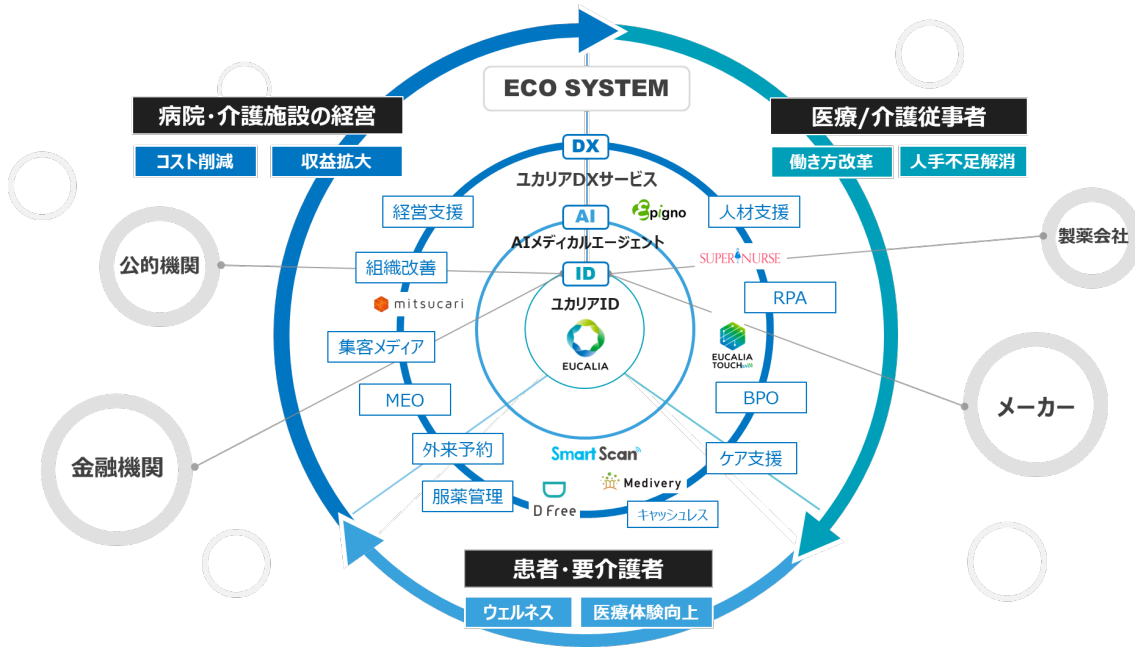
サービスであり、「課題設定」「現場視点」「医療従事者投票」の各部門で好評価をいただきました。

「スマート脳ドック」サービスサイト：<https://smartdock.jp/>

※2月14日配信の当社[プレスリリース](#)で既報の通り、スマートスキャン株式会社は当社に吸収合併予定です。

■ユカリアの医療 DX 構想

超高齢社会を迎えた日本には、社会保障費の増大という社会課題があります。この社会課題を解決していくため、ユカリアは「ヘルスケアの産業化」というビジョン、「変革を通じて医療・介護のあるべき姿を実現する」というミッションを掲げています。この「あるべき姿」とは、病院・介護施設の経営安定化、医療／介護従事者のウェルビーイングの実現、患者・要介護者に対するサービスの向上という「三方良し」が達成されていて、人々のQOLの持続的な改善が行われている状態です。



ユカリアのヘルスケア DX 構想

ユカリアのヘルスケア DX 構想はITやデジタルテクノロジーにより「三方良し」の実現を目指すもので、その中心にはユカリアが独自に開発を進めている AI エージェントがあります。そしてヘルスケアに携わる方々、そして消費者は、AI エージェントのサポートを受けながら共通の ID によりシームレスに様々なサービスの提供を受けることが可能となります。

ユカリアはすでに「スマートスキャン」「ユカリアタッチ ウィズ」などさまざまなサービスの提供を行っていますが、ヘルスケア領域のあらゆる課題に対応できるよう、病院経営サポートを通じて蓄積してきた豊富な知見や、独自に保有する電子カルテ由来の医療データなどを活用し、また多様なステークホルダーと連携することで様々なサービスの開発を進めてまいります。

【株式会社ユカリア】

ユカリアは、ビジョン「ヘルスケアの産業化」・ミッション「変革を通じて医療・介護のあるべき姿を実現する」のもと、医療・介護の現場の皆さまと共に、5つの変革テーマ「①医経分離②病院運営の最適化③患者起点の VBHC の追求④地域包括モデル⑤現場に適した DX 化」を推進するため、経営支援・運営支援、デジタルテクノロジーを中心とするソリューションの提供を行っています。

所在地 : 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 19 階
事業内容 : 医療経営総合支援事業、シニア関連事業、高度管理医療機器事業
ホームページ : <https://eucalia.jp/>

◎本件に関するお問い合わせ

株式会社ユカリア コーポレートコミュニケーション担当 飯塚、那須 電話：03-5501-2271（代表）